

香川高等専門学校	開講年度	令和03年度(2021年度)	授業科目	体育 I
科目基礎情報				
科目番号	211042	科目区分	一般 / 選択	
授業形態	実技	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	機械電子工学科(2019年度以降入学者)	対象学年	4	
開設期	通年	週時間数	1	
教科書/教材	教科書: 現代保健体育(大修館書店)			
担当教員	吉澤 恒星			
到達目標				
様々なスポーツ種目の実践を通じて、①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク(団体行動)やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得、を目指す。				
ループリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
様々なスポーツ種目の実践を通じて、健全な身体の発達及び体力の向上がみられる	スポーツ種目全般について、試合をこなす体力が獲得できる。	得意な種目について、試合をこなす体力が獲得できる。	全ての種目において、試合をこなす体力が獲得できない。	
様々なスポーツ種目の実践を通じて、生涯スポーツ実践のための基礎スキルを獲得できる	スポーツ種目全般について、基礎スキルを体現できる。	得意な種目について、基礎スキルを体現できる。	全ての種目において、基礎スキルを体現できない。	
様々なスポーツ種目の実践を通じて、技術者として求められるチームワーク(団体行動)やルール遵守といった模範的な態度を醸成できる。	授業での種目実践(試合など)においてグループの中でリーダーシップを発揮できる。	授業での種目実践(試合など)においてグループの中で良好な人間関係を構築できる。	授業での種目実践(試合など)において人間関係を構築できない。	
様々なスポーツ種目の実践や保健の授業を通じて、健康に対する基本的な知識を習得できる	健康に対する基本的な知識を十分に習得し、日々の生活の中で実践できる。	健康に対する基本的な知識を習得し、日々の生活の中で部分的に実践できる。	健康に対する基本的な知識を習得できず、実践できない。	
学科の到達目標項目との関係				
学習・教育到達度目標 D-(3)				
教育方法等				
概要	様々なスポーツ種目の実践を通じて、①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク(団体行動)やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得、を目指す。			
授業の進め方・方法	学習目標①～③に対応して、スポーツ種目の実践を実技形式の授業でおこなう。なお、種目によっては体力状況を考慮して内容を変更する場合がある。			
注意点	グラウンド状況が不良の場合は、特に運動場での実施種目について学習内容を変更する。 この科目は、本年度内及び進級後に再試験を実施しない。この科目的単位修得が進級要件となるので、必ず修得すること。			
授業の属性・履修上の区分				
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期 1stQ	1週	オリエンテーション・スポーツテスト	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク(団体行動)やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得	
	2週	スポーツテスト	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク(団体行動)やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得	
	3週	スポーツテスト・選択	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク(団体行動)やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得	
	4週	選択(バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール)	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク(団体行動)やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得	
	5週	選択(バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール)	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク(団体行動)やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得	
	6週	選択(バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール)	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク(団体行動)やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得	



4thQ	9週	選択 (バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール)	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク(団体行動)やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得
	10週	選択 (バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール)	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク(団体行動)やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得
	11週	選択 (バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール)	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク(団体行動)やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得
	12週	選択 (バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール)	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク(団体行動)やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得
	13週	選択 (バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール)	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク(団体行動)やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得
	14週	選択 (バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール)	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク(団体行動)やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得
	15週	選択 (バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール)	①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク(団体行動)やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得
	16週	試験実施せず	

#### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。 自らの考えで責任を持つてものごとに取り組むことができる。 目標の実現に向けて計画ができる。 目標の実現に向けて自らを律して行動できる。 日常の生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。 社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。 チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。 チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他の者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができ る。 当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。 チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。 リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。 適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。 リーダーシップを發揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている。 法令やルールを遵守した行動をとれる。 他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に負っている責任を擧げることができる。	2	

#### 評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	40	40
専門的能力	0	0	0	0	0	40	40
分野横断的能力	0	0	0	0	0	20	20